

校内研修プログラム 指導案

- ☆ねらい
- ・事例を通し、児童と関わる上での基本的な姿勢について理解する。
 - ・参加体験型の研修を通し、様々な児童との関わり方があること、組織的に対応することの大切さを知る。
- ☆内容
- ハンドブックと事例を使った研修
- ☆研修時間
- 約 90 分
- ☆準備
- ・ハンドブック「応援ナビ！」
 - ・プレゼンテーションDVD
 - ・ワークシート
 - ・集約シート（模造紙）
 - ・付箋（青、赤）
 - ・マジック
- ☆展開

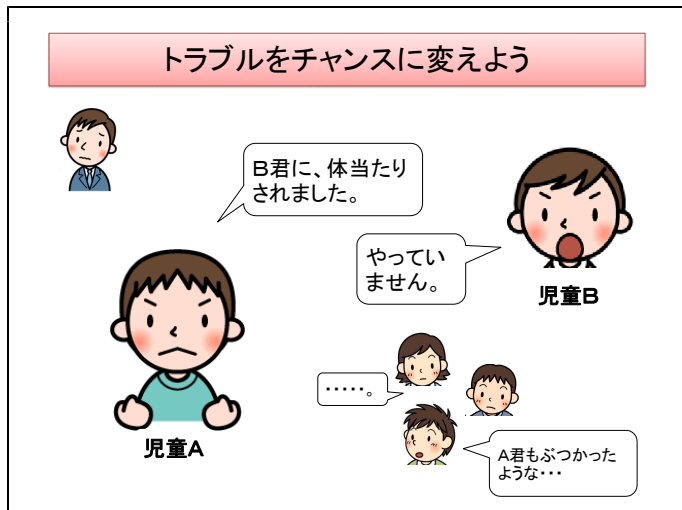
*表中の「P」は、参照するハンドブックのページ

研修内容	時間	留意点	P
1. 研修内容を理解する。	2	・プレゼンテーション資料を用いて内容の見通しを持てるようにする。 ・トラブルを、児童理解を深めるチャンスと捉えるとよいことを伝える。	
2. 実践を通して、児童とのよりよい関わりのポイントを理解する。	40		
○ロールプレイ 1 【実際場面での対応】 ・予鈴後の児童からの報告への対応 (担任役、児童役、観察役、記録役など)	(20)	・役割を決める。提示した事例（アンケートの自由記述での事例を生かす）に沿って、ロールプレイを行い、それを見合う中で意見を出し合い、より良い対応を考えられるようにする。 ・ロールプレイ前に、普段自分が取るであろう対応等をメモする時間を取り、担任役はそうに行ってもらおう。 ・振り返りを行うことで、望ましい対応を多面的に考える、学びの時間とする。	6
○ロールプレイ 2 【気持ちを受け止める】 ・受容、共感 ・繰り返し、要約 ・感情の明確化	(20)	・個別の作業（考える）時間を多く取ること で、これまでの経験を振り返ったり、改善に結びつけられるようにする。 ・ロジャースの傾聴技法（受容、繰り返し、明確化）を体験することを通し、信頼関係を築く会話について知らせる。	3

<p>3. ワークショップを通し、組織的対応について理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ワークショップ</p> <p style="text-align: center;">【組織的な対応】</p> </div>	<p>45</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的に対応することの重要性について、アンケート結果のデータを基に示す。 ・同僚性についても触れる。 ・インシデント・プロセス法を用いて、提示した事例を解決するための具体的なプランをグループで考える。これにより、①様々な対応の仕方があること、②小さな事でも組織的に対応していくことが大事であること、を実感してもらう。 ・事例は、アンケート調査の自由記述に書かれた内容を一部変更して扱う。 	<p>10 19 23 24</p>
<p>4. まとめ</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的対応の意義をプレゼンテーション資料を使って伝える。 ・県教委から出されている「見守りシート」や、一般教員が実際に使用しているノート等を提示する。児童や保護者との信頼関係、効果的な引き継ぎ等につながることに触れ、般化を促す。 	

校内研修プログラム ワークシート

☆ロールプレイ



あと2分で、授業開始のチャイムが鳴ります。
あなたなら、どのように対応しますか？

<あなたの考え>

<メモ>

☆ グループワーク

＜事例＞ 小学校４年生 A男

Bが、Aに蹴られたと訴えてきた。放課後、A、Bと、一緒にサッカーをしていた３名を教室に残した。

Aは、毎回ボールの片付けをしていた。今日もBに片付けるよう言われたため、頭にきたらしい。児童の話では、チャイムが鳴った時にボールを触っていた人が片付けるルールになっている。

その日は放課後に会議があり、開始時間が迫っていたため、互いに謝らせ帰宅させた。会議後、職員室に戻ると、Aの母から電話があった旨のメモがあった。

翌日、Aは学校を欠席した。

＜メモ＞

＜質問に対して、答える際に参考になる情報＞

- 対象児童は４年生、男子。学年は２学級。１クラスの男女は、共に１５人ずつ。６月の出来事。
- ＡとＢは３年生でも同じクラスで、引き継ぎ資料によると、特にトラブルはなかった。
- ４年生になり、他の児童も含めて、ＡとＢはよく一緒に遊んでいる。
- 前日の掃除の時、「用があるからやっという」とＢに言われて、当番ではないのにゴミ捨てをしていたのを見た。
- 児童Ａは一人っ子。両親は共働き。父親は育児には非協力的。
- トラブルのあった日、Ｂが「昼休み、Ａに『てめえふざけるな。ぶっとばしてやる。』と言われ、足を軽く蹴られた。」と、帰りの会の前に訴えてきた。
- Ａは、「今日は最後に触ったのは僕じゃないのに、Ｂが僕が最後だと言って、みんなも行っちゃった。」と言う。Ａは、いつも片付けを押しつけられていることを訴えている。
- Ｂは「最後はＡだった。」と言う。一緒にサッカーをしていた人は、「見えなかった。」と言う児童が２名いたが、その他は「Ａが最後だった。」と言った。そのときのＢは勝ち誇ったような表情をしていた。
- Ｃが「ＡとＢはどっちも触っていたような…」と言ってＤを見た。Ｄは、「…なんか、いつもＡ君が片付けてくれるから…」と言った。「Ａ君はいつも片付けているの」と担任が聞くと、「そう、みんな先に行っちゃう」とＡは不満そうな表情で答えた。
- その時、ちょっと気になった担任が、「いいの？」と声をかけたところ、Ａは「大丈夫」と答えたので、そのままにした。
- Ａの母からの電話のメモ：「今日の友達とのけんかについて、詳細を聞きたい」
- 電話は２回（会議後、夜）かけたが、２回とも留守番電話
- 翌日の欠席連絡は、出勤前だったので、別の教員が出た。
- 朝の９時にかけたが、留守番電話だった。